
ソウマくん

真白羽底

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ソウマくん

【Nコード】

N8121R

【作者名】

真白羽底

【あらすじ】

ある日自殺したソウマくん
千秋はその死に疑問を覚える。
なぜソウマくんは自殺したのか――

第1話 千秋（前書き）

今日一日頑張って書きました
初めての小説です

第1話 千秋

- - - - -
- - - - -
- - - - -

こんにちは 元気？

こっちは元気だよ

もうすぐ高校だね

ハルとも違う学校になっちゃうのか・

中学終わるの早すぎ

さて・

こうしてメールしたのはね

やっぱりあの日のことを聞かせてもらいたいからなの

また？ ってうざいと思われるだけかもしれないけど

お願いします

千秋より

- - - - -
- - - - -
- - - - -

私はそうメールを送った後 電車は横浜駅を発車した。
電車の窓からは暖かい日差しがあふれてくる。
空は澄み切っていた。

ああ・あの日もこんな天気だったな・

あの日は3月19日のこと

その日は山登りの日だった

山登りの日・・・

私は中学1年生から登山部に所属していた

「登山部」 響きは固いが私の中学校では結構人気で部員は学年全員で20人弱

部員みんな仲良くて先輩、後輩も皆で仲良かった

毎週2回体力づくりのトレーニングがあり、毎月1回登山をする

私はその山登りが大好きで3月19日も参加してた

ハルは体の調子が悪くてソウマくんは用事があるっていう理由で2人はその登山には来れなかった

お友達と楽しくおしゃべりしながらの山登り

澄み切った空の下でのお弁当 おいしかったな

でもその日のことだったの

ソウマくんが死んだのは

ソウマくんの遺体が見つけたのはソウマくんのお母さん

警察の人によると青酸カリによる自殺だって

ソウマくん化学の恵子先生を口説き落として化学実験室の鍵盗んで
青酸カリ持ち出したんだって

恵子先生学校辞めて、今行方不明だって

事切れるまで苦しんだのは10数秒だって

遺書もあつたから自殺ってことになるんだって

でも自殺の動機も見つからないし

ソウマくん自分の日記とか携帯とかどっかに処分したみたいなの
もう意味わかんないよ

って思ったとき

私 あることを2つ思い出したの

ソウマくんは自殺じゃない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8121r/>

ソウマくん

2011年10月8日22時00分発行